

郵報知  
便錦馬第六号

大坂高津七番町栗駒常七伴の  
 久吉の当拾才多か去年竊盗の  
 糾とや微後六日蒙りたを慎  
 ちば正月雇の先の金拾円持  
 逃し親許知音も立寄りか  
 式夜十日前みせ物小屋の臥居る  
 傍を如く見れば拾才計の女子臥  
 たる小色欲を發し無暗と手語不  
 おはせとも知羊の女子の色バ終  
 大音を揚げ叫声は未言耳小れ  
 駈來し捕せぬ後後役は羊不所  
 見られ此知せんか村せ官原は  
 女をて家を出奔し愛を卧耶とせろ  
 明治五年六月の事情 ようしあ

